



今回は、長年にわたり社会奉仕活動を続けておられる粕ヶ原在住の高橋千鶴子さんへのインタビューです。



**町の奉仕活動をされるきっかけは？**

健康で過ごせた専業主婦歴20数年、さまざまなボランティア活動に全力投球し、その縁で池田町社会福祉協議会ボランティアコーディネーターとして20余年、町民の皆様大変お世話になりました。退職後少しでもお返し出来たらと主に知的障がい児（者）を支援する「さといもの会」で活動しています。

**今までにどんな活動をされていますか？**

婦人会、子ども会、PTA、防火クラブ、老人クラブ等……、現在は主に「さといもの会」で

- \* 知的障がい児親子の会「きらきら」の参加する「親子ふれあい土曜なかよし教室」への支援
- \* 「ふれ愛の家」の作業ボランティア及び行事支援活動
- \* 揖斐特別支援学校への行事支援（学園祭等）
- \* 池田町社会福祉協議会への事業協力

その他レクリエーション支援（いきいきサロン・ふれ愛の家・レクリエーション協会）等も行って来ました。



揖斐特別支援学校学園祭の様子

**今までの活動で苦労されたことは？**

現在は主に障がい者支援を中心に活動していますが、色々な行事にはかなりの費用が必要です。全てそれぞれ自己負担ですが、年に一度だけ「さといもの会」が招待してカレーパーティーを行い、大変喜ばれました。その笑顔が忘れられず、もっと支援してあげたいのですが資金不足で悩んでいます。



カレーパーティーの様子

**これからの活動の目標は？**

「この世の中で大切な事は人の為に奉仕して恩をきせないこと」と聞いておりますが、十分な奉仕も出来ぬまま、年を重ねてしまいました。障がいを持っている人や高齢者が住み慣れた地域で住み続けられるよう支援していけたらと思っています。頑張りますので温かい応援よろしくをお願いします。

（渡辺 幸一）

**編集後記**

新年明けましておめでとございます。一年間はあつという間に過ぎ去ってしまいました。午年の今年は、町長の年頭の挨拶の中で何事も挑戦の年にしたいとありました。議員全員が人と人とのつながりを大切に、フットワーク良く、町政に関わって行く覚悟です。私達委員での編集は今回が最後となりますが、今後も議会改革に取り組んで町民の皆様とより良い繋がりをもちながら、今後も情報を共有し、安全、安心な池田町をつくらせていきたいと思っております。

（議会広報編集委員 白井幹夫）